

道路建設事業の再評価項目調書

事業名		一般国道188号 柳井バイパス		事業主体	中国地方整備局
所在地		柳井市柳井～柳井市南 町三丁目			
事業概要		一般国道188号は、岩国市を起点として山口県東部の瀬戸内海沿岸の諸都市を経由し、下松市に至る延長約70kmの主要幹線道路である。 柳井バイパスは、柳井市中心部における交通混雑の緩和及び交通安全の確保を目的として計画された延長3.5kmのバイパスである。			
事業着手		平成元年度			
総事業費		約190億円	既投資額	平成14年度末まで 約45億円（進捗率24%）	
再評価の視点	事業の必要性に関する視点	ア)事業をめぐる社会情勢等の変化 一般国道188号の柳井市中心部周辺は、昭和40年代から始められた臨海部での工業団地（南浜企業団地）、流通団地（卸売センター）造成の完了に伴い、交通量が増加し、交通混雑や交通事故の多発のほか、交通環境の悪化が生じている。			
		イ)費用便益分析			
		道路事業に要する費用		道路整備による効果	
		総費用 評価対象期間内 ＝整備期間＋40年 〔総事業費 190億円 部分供用に要した事業費 40億円 残区間整備に必要な事業費 150億円 現在価値換算事業費 124億円〕 事業費 124億円 維持管理費 10億円 総費用 ＋ ＝ 134億円(C)		走行時間 短縮便益 222億円 走行経費 減少便益 10億円 交通事故 減少便益 6億円 総便益 ＋ ＋ ＝ 238億円(B)	
		費用便益分析の結果 B / C = 1.8			
		「費用便益分析マニュアル(案)による」 (H10.6.26 付け建設省道経発第14号通達)			

事業名		一般国道１８８号 やない 柳井バイパス	事業主体	中国地方整備局
再 評 価 の 視 点	事業 の必要 性に関 する視 点	ウ)事業の進捗状況 １．主な経緯 平成 元年度 事業着手 平成 元年 ４月 都市計画決定 平成 ４年度 用地買収着手 平成１０年度 工事着手 平成１０年度 事業再評価 平成１４年１１月 都市計画変更 みやまこがいさく 平成１５年 ４月 (市)宮本開作線～終点間(L=1.9 km) 暫定供用 ２．事業の進捗状況 ○工事の進捗状況 再評価時の工事進捗率は約３％であったが順次整備を図り、平成１４年度末までの進捗率は約２７％である。 ○用地補償の状況 再評価時の用地進捗率は約１％であったが、用地買収を促進し、平成１４年度末で、全体の約３７％の用地買収が完了している。 ○その他事業の状況 (主)柳井上関線(バイパス) 用地買収及び工事中 (H10年代後半供用目標)		

事業名		一般国道１８８号 やない 柳井バイパス	事業主体	中国地方整備局
再評価の視点	事業進捗の見込み	・用地の進捗見込み 現在、残るバイパス区間の用地取得を実施しているところであり、平成１５年度末には約４２％の進捗となる見込みである。 ・工事の進捗見込み 平成１５年４月には（市）宮本開作線～終点(L=1.9km)間の暫定供用を行ったところである。 残る区間についても用地買収が完了した区間より順次工事を行うこととしている。		
	コスト縮減や代替案の可能性	・新柳井大橋の平面・縦断線形を見直し、橋梁規模の縮小化により、コストの削減を図った。 ・建設副産物の発生抑制や再生材利用等によりコスト縮減に努めている。 ・また、みやもとかいさく の観点による再評価より、代替案を検討する必要はないと考えている。		
今後の対応方針		・事業継続 平成１０年代後半のバイパス区間供用を目指し、事業を推進する。		

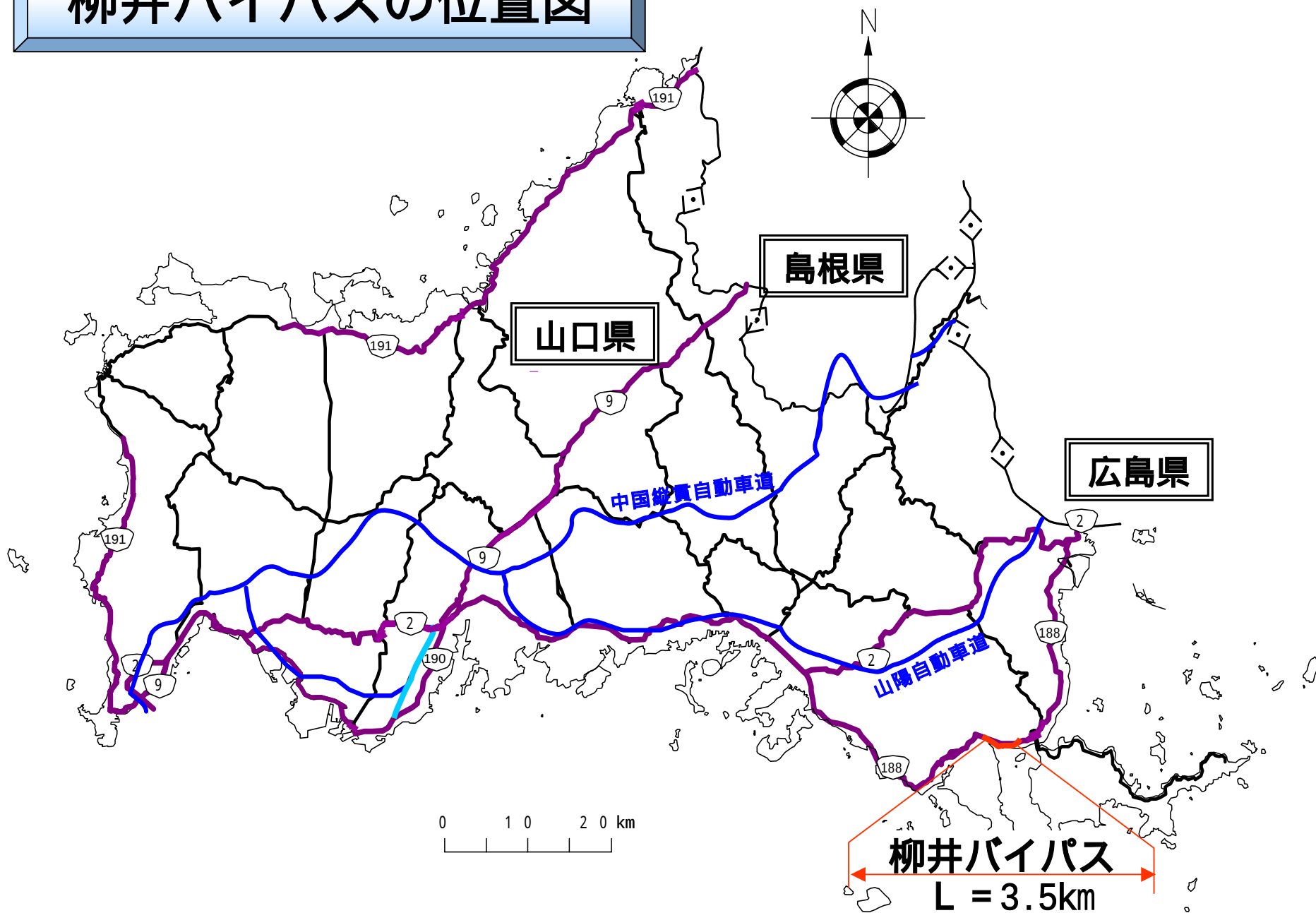
一般国道188号 ^{やない}柳井バイパス

事業再評価

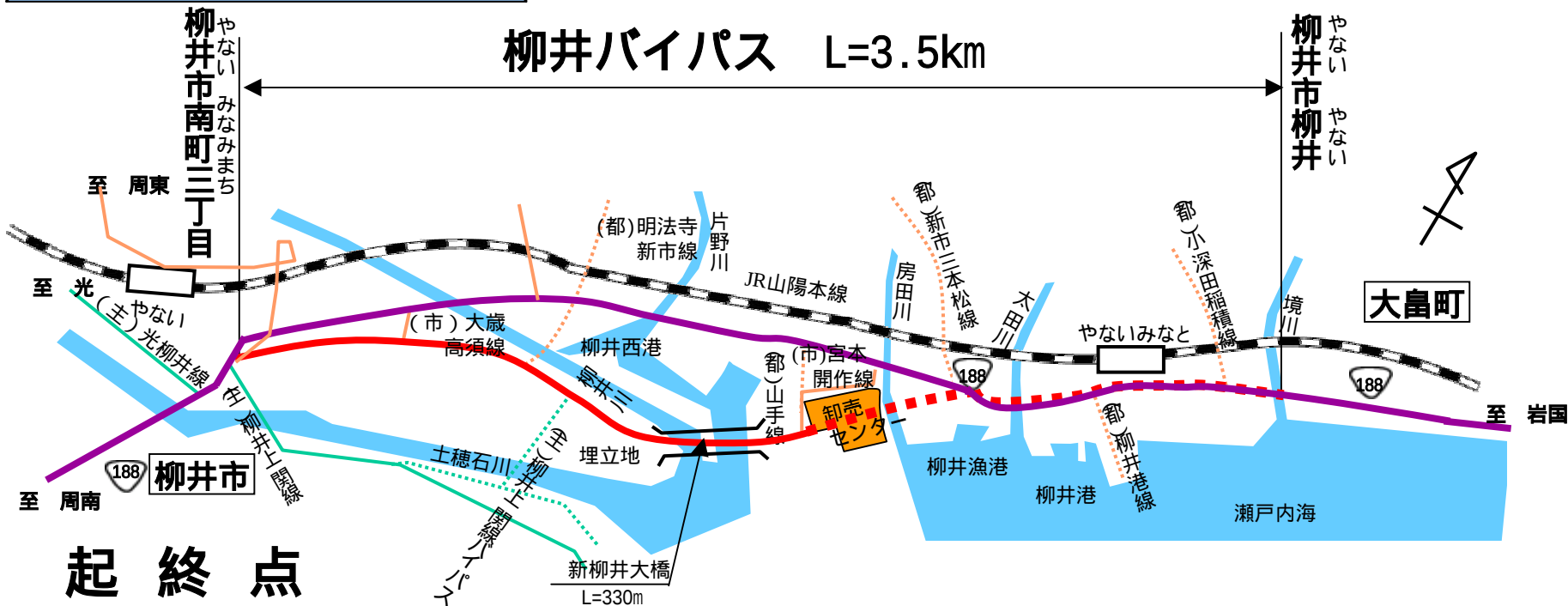
平成 1 5 年 6 月

国土交通省 中国地方整備局

柳井バイパスの位置図



事業の概要



起 終 点

(自) 柳井市柳井

(至) 柳井市南町三丁目

- ・計画延長: $L = 3.5 \text{ km}$
- ・幅 員: $W = 30.0 \text{ m}$
- ・道路区分: 第3種第2級
- ・設計速度: $V = 60 \text{ km/h}$



■ 標準断面図(完成)

柳井バイパス L=3.5km

● 渋滞状況

大水道交差点の最大渋滞長

供用前 1,000m → 部分供用後 250m



・ 部分供用により、大水道交差点の渋滞は緩和。

・ しかし、宮本交差点では新たな渋滞が発生。

おおすいどう 大水道交差点の状況



周南方面



岩国方面

みやもと 宮本交差点 の状況



岩国方面



周南方面



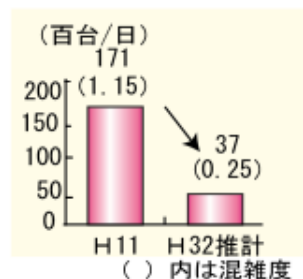
新柳井大橋方面

整備効果

● 混雑緩和効果と連絡時間の短縮、沿道環境改善効果

- ・ 柳井バイパス起終点間で**約2分短縮**(6分→4分)
- ・ 混雑度が減少し、**走行性が向上!**
- ・ 騒音は**環境基準を満足!**(昼間; 75dB → 67dB、夜間; 71dB → 63dB)

〔現国道の混雑緩和(推計)〕



〔現国道の騒音低減(推計)〕

	昼間	夜間
現況(H12)	75.1dB	70.7dB
将来(H32)	67.2dB	62.9dB

柳井バイパスの整備により、沿道騒音は環境基準を下回ることが予想される。

